

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		運動スタジオHOUKAGO				公表日	2026年3月9日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	曜日を変更してもらったりと工夫している。十分なスペースを確保している。全体的にフラットにしてある。基準より広いスペースにし、体育館のようなフロアの仕様にしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	プログラム中は常に5名以上職員を配置している。基準より多く配置。	人員配置の加配加算も算定している。今後はより専門的な加算への取り組みもする予定となる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	十分なスペースを確保している。運動ゾーンと静かゾーンにし環境を整えている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	換気を行い感染予防を行っている。空間をわけ、児童の都合に合わせて過ごしている。	教室内は、扇風機や空気清浄機など全部で5台稼働し、空気を常に入れ替えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	宿題ができるよう静かゾーンを作ったり相談室でトラブル時は話したりもしている。静かゾーンや他の場所で活動することも認めている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	毎日のミーティングを行っている。毎日、朝のミーティングで共有している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	その都度話し合いを行っている。Hug内のシステム利用で気軽に連絡できるようになっている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	情報の共有を行い朝のミーティング中に共有している。朝のミーティング、夕方の反省会にて共有している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	アンケートや連絡帳での評価。外部機関による、評価はないが今後実施予定。	今後実施予定となる	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	社内の研修。定期的に研修を実施している。	社内研修の他に、他事業所の研修にも参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	職員同士での話し合いを行っている。HPに公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	定期的な面談で聞き取りを行い意見をとり入れて作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	ミーティングで意見交換を行い作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	今月の目標やこの部分をのぼすのか、話し合いを行っている。全員で共有し、支援にあたっている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	Hug内にて日々の活動を保護者へ報告している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	保護者と連携し目標設定を行い支援している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	常に話し合いを行い反省会をしている。前日よりプログラムの共有、リハーサルを行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	子ども達に合わせて常に変化させている。新しさやオリジナルになるよう話し合いをしている。毎回違うプログラムになるよう月ごとにテーマを設定している。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	保護者と面談を行い、アセスメントを作成、支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	毎朝のミーティングと14時のパートミーティングで共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	プログラムの反省点を行い、共有している。終了後、共有し、次回の支援につなげている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	記録をHug上で保護者と共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	6か月に1回以上モニタリングを行い面談している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	子ども達が今何が必要なのかどうしたいのか話を聞き、取り入れたりしている。自由活動の時間では、自分たちで行動できるよう支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児発管or代表が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	連携し、情報共有をしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	連携をとり、情報の共有を行っている。学校の予定を頂いたりHug内で調整している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	利用前や就学前などの共有を行ない努めている。担任含め情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	まだはじめてなのでどのように情報を共有しているのかわからないが、今後の動きを参考に取組んでいきたい。まだ該当者なし。	送迎時など、児童の様子を担当と共有している。今後も積極的に継続予定となる。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	今後取組んでいく予定。地域の研修に参加して交流している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	定期的に公園へ行き地域の子ども達と一緒に鬼ごっこしている。	公園などに積極的に参加し交流を図る予定となる。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	参加している。	地域の会議などに今後も参加予定となる。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	利用時はHug内にて保護者へ報告している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	午後の早い時間では、家族で参加できるプログラムにしている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時、細かく説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	定期的な面談や引き渡し時に状況を説明し次回につなげている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	個別支援計画を作成後、保護者の同意を得てから利用してもらっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	その都度面談を実施している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	4	現状はまだ、難しいが、今後は保護者の交流がやれればと思う。他の事業所と同じ研修で保護者、スタッフと交流しているプログラムは兄弟で参加も受け付けている。	保護者会を嫌がるご家庭もあったので、今後、運動会などのイベントごとで保護者同士や兄弟が交流できるよう計画していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	即時対応に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	HPやSNS、Hug内に公開している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	カギ付き書庫にて保管	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1	Hug内チャットを利用し職員にも共有している。	電話やチャットなど早急に対応できるよう準備している。今後も継続予定。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	定期的に公園で一般の子たちと交流している。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	社内の研修を年2回ほど行って周知している。研修、訓練実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	避難訓練を行い、反省を行っている。研修、訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	面談時に確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	食物アレルギーの児童は、おやつ持参にて対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	研修、訓練を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	Hug内にてすぐに連携できるようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	職員で共有できる環境にしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	契約時説明。該当者なし。		